

# 震災から4年。現在の課題と求められるもの



東日本大震災から4年。セキュリティ被災地応援ファンドを通じて皆様から応援頂いております被災地の37事業者様に、現状の課題と必要としていることについて聞きました。各社の課題の中には、事業者固有の課題もあれば、地域や業種によるものもあります。このアンケート結果を通じて、各社の課題を知り、私たちに求められていること、できることは何かを考える一助にさせていただければ幸いです。

(アンケート実施期間：2014年12月～2015年2月)

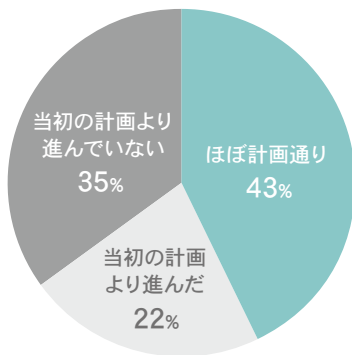
# 2015

## 事業計画の進捗は鈍化傾向ながら、半数以上は「今年の方がよい」と回答

### 35%は事業計画に遅れ

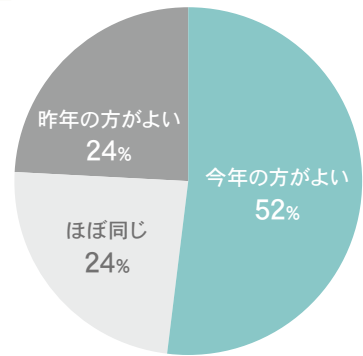
### Q1

ファンド募集時に立てた計画と比べ事業全体の進捗はいかがですか？



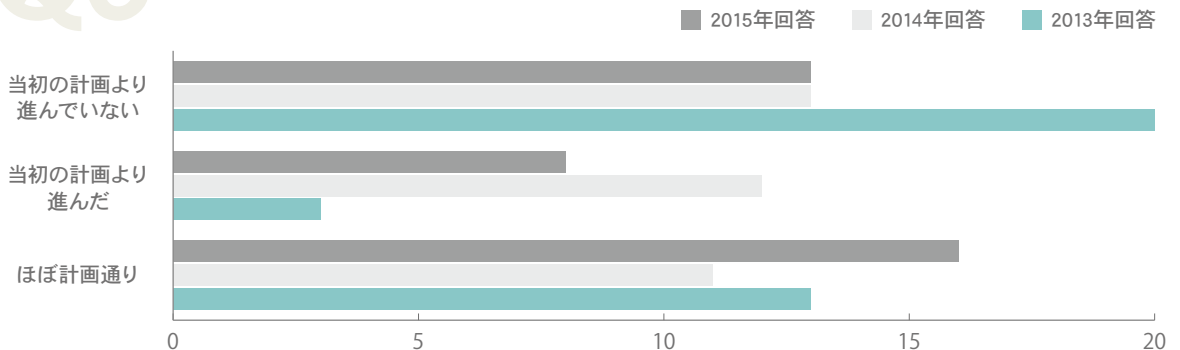
### Q2

昨年と比べていかがですか？



### Q3

ファンド募集時に立てた計画と比べ、事業全体の進捗はいかがですか？



# 現在、直面している課題は何でしょうか？

3年連続「販路開拓」が課題のトップ。

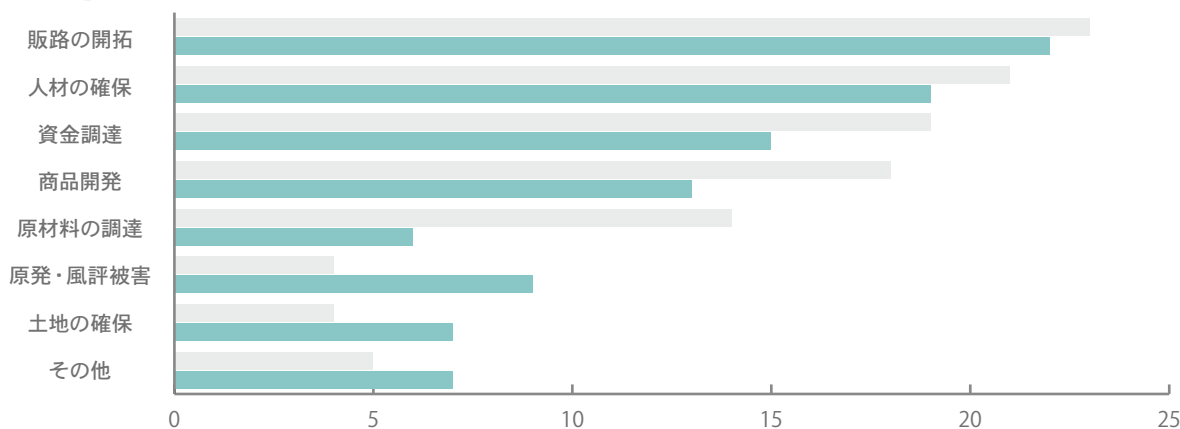
資金調達、商品開発と原材料の調達が浮上し、複数の課題を同時に抱える姿が浮き彫りに

現在直面している課題として、「販路の開拓」が3年連続1位となり、そのために必要な「商品開発」を挙げる事業者も13社から18社に増えました。「人材の確保」については、多くの事業者が特にコメントを寄せており、深刻さが伺えました。また、今年の傾向として、事業の拡大に伴う資金繰りの問題に加え、仮設から本設への店舗や工場の移転が間もなく始まることから「資金調達」が再浮上し、消費税増税や円安の影響から「原材料の調達」が倍増しました。解決しなければならない課題は増加し、一部の課題は長期化する傾向がみられます。

## Q4

現在、直面している課題を教えてください（複数回答可）

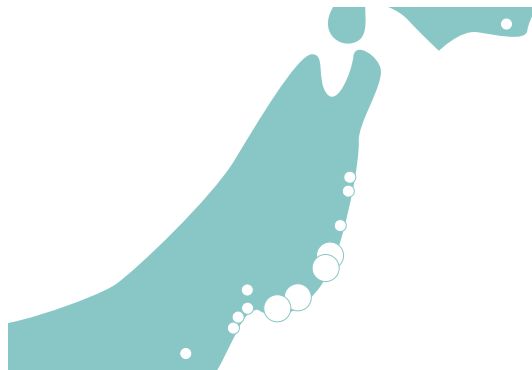
■ 2015年回答 ■ 2014年回答



※ 今回実施したアンケートの回答の全文は、セキュリティ被災地応援ファンドのウェブサイトよりご覧ください。

## 各社の声を紹介

各社の課題の中には、事業者固有の課題もあれば、地域や業種によるものもあります。このアンケート結果を通じて、各社の課題を知り、私たちに求められていること、できることは何かを考える一助にいただければ幸いです。



### ▶ ヤマジユウ（北海道霧多布／水産加工）

「消費税増税の影響が大きく、4月以降売上を大きく落とした。年末商戦は、2013年より14年の方がよかったが、消費税増税時の凹みはカバーできなかった。現在、金融機関からの借入れが不可能な状況。売上が伸びてくると、その分、資金繰りが厳しくなる。」

### ▶ 菱屋酒造店（岩手県宮古市／清酒製造）

「会社の近辺は民家がありません。防潮堤ができるまでは新築が許可になりません。民家ができないと一般小売も成立しません。やはり復興工事（防潮堤と復興道路）の進捗を進めるのが一番必要です。」

### ▶ 三陸味処三五十（岩手県山田町／飲食業・食品加工）

「震災により住居を失い、人口流出の影響が求人を出しても応募者がありません。店舗再建は国の「四分の三補助」の認定を受けて可能となっておりますが、土地の高上げが始まったばかりで再建の目的は未定に思えます。」

### ▶ 喜久盛酒造（岩手県北上市／清酒製造）

「設備投資は十分させていただいたが、運転資金がまだ潤沢な状態ではない。地元市場が壊滅的な為、県外にもっと販路を見つきたい。」

### ▶ 三陸とれたて市場（岩手県大船渡市／地魚の加工食品開発等）

「大型定置網等の生産回復は実現しましたが、漁船漁業等の小規模漁業者の生産回復が遅れ(多くが廃業?)、マーケットに特定の魚種だけが単調に水揚げされる環境に変わってしまいました。」

### ▶ 酔仙酒造（岩手県陸前高田市／清酒・焼酎製造）

「酒造りについては新しい設備にも慣れつつあり、酒質は向上している。売上額等、計画に近い数字ではあるが苦戦している。特に関東方面の販路拡大は厳しい。地域全体で人手不足のため、繁忙期には人手不足になってきている。」

### ▶ 八木澤商店（岩手県陸前高田市／醤油・味噌等の加工）

「昨年の方がよい。復興応援の物販での売上が、極端に減少したため。昨年実績を下回る結果となった。自力本願で被災企業の看板を外して商売していきます。」

### ▶ いわ井（岩手県陸前高田市／和雑貨等）

「今は有事であることを忘れていただきたいという事です。被災地全体の傾向を測り平均的なモデルを想定して、制度を運用しようとしても実際にはほとんど該当者がいないような制度に被災者自身が無理して合わせているのが実情です。」

### ▶ 御菓子司木村屋（岩手県陸前高田市／菓子製造）

「事業の復旧の補助金等を使い資金的にギリギリのところまで経営計画を立てていましたので消費税の増税や円高による原材料や光熱費の値上がりが深刻な問題となっています。また、被災企業共通の悩みでもある優秀なスタッフの確保も頭の痛いところです。」

### ▶ 世嬉の一酒造（岩手県一関市／清酒・ビール等の製造、レストラン業等）

「団体観光客・個人観光客が減少しました。それに伴い、直売店の売上が下がりました。ただ、いわて蔵ビールで新商品を出したり、イベントを企画してこちらから出店したり、新しいコラボレーションを行ったり、町おこしイベントをすることで、全体の売上は向上しています。」

### ▶ 盛屋水産（宮城県気仙沼市／漁業・水産加工）

「高齢化が進む剥き子さん(牡蠣を殻から外す作業者)の確保が依然難しい。販路については、当初予定していなかった加工品を2013年より製造開始したが、2年続けてみて直接消費者に販売する商品を作るための作業の多さと、復興した牡蠣生産の両立が難しいことを実感している。」

### ▶ 藤田商店（宮城県気仙沼市／漁業・水産加工）

「昨年同様、復興関連の仕事の賃金が高いため、人が集まらない。ワカメは特に、風評被害の影響をいまだに受けているが、若干回復傾向の兆しが見えるようなので、年明けからスタートする収穫に期待したい。」

### ▶ 石渡商店（宮城県気仙沼市／ふかひれ加工・製造）

「商品開発に時間をかけ、自社のベースアップをしたことで、稼働率などに良い影響をもたらした。一方、円安の影響による原材料の値上がりと人件費の増加によって、コストが増加しました。」

### ▶ アンカーコーヒー（宮城県気仙沼市／飲食）

「おかげさまで震災からちょうど4年目あたりに現在建築中の本店舗を開店できそうです。当初の計画では1年ほどで開店だったのに、実質かなり遅れる結果になりました。利益の確保と人材の確保が一番の課題です。本店舗ができて店舗が増えるのですが、どう人員を確保するのが大きな課題です。」

### ▶ 丸光製麺【丸光食品】（宮城県気仙沼市／製麺）

「社員の募集をしているが、問い合わせすらこない。一歩ずつ動いてはいるが、販路を開拓し実際に入金になるまでの運転資金が大変。」

### ▶ 齊吉商店（宮城県気仙沼市／水産加工）

「昨年や一昨年に比べ、ご支援くださる気持ちから商品を買ってくださるお客様の購買が減り、その中から 本心に商品を気に入ってくださるお客様にお買い上げいただくこと、新しく商品を知ってくださるお客様を増やしている、という実感。」

### ▶ マルトヨ食品（宮城県気仙沼市／水産加工）

「現在営業を行っている所が区画整理事業の高上げ地域に入っているため、移転せざるを得ない状況に陥り、また、折角行政の補助金を使って営業を再開させたのではあるが、補助金を使った建物を取り壊すのであれば、補助金の返還を求められている状況です。確かに移転補償は出ますが、その資金で新しい建物を作るには資金が足りない状況に、さらなる自己負担が発生し、返還を求められています。」

### ▶ 歌津小太郎（宮城県南三陸町／水産加工）

「第二工場の建設を控え、現在さまざまな計画を立てています。今回の建設費は、国や町の補助金を活用して行う事業となりますが、どうしてもその費用を前立てで用意しなくてはならないため、その間のつなぎの資金を金融機関から用意せざるを得ません。今後も補助事業にはこの種の懸念が大きな懸念事項となります。」

### ▶ ヤマウチ（宮城県南三陸町／水産加工）

「現在、水産庁の補助金を使って、本工場の建設を進めている。その工場が完成すれば生産は順調に推移するものと思われる。しかしながら、工場で働く従業員がなかなか集まらない。人員不足が深刻である。また設備も最新式の設備を考えており、商品開発、販路開拓がこれからの課題となってくる。」

### ▶ 及善商店（宮城県南三陸町／水産加工）

「昨年はJRのデスティネーションキャンペーンで、地元のツアー客で賑いましたが、今年はそれがなくなった分客様の入数と売上に影響が出ました。既存のお得意様や、催事の売上は横ばいでした。直売の売上が下がって来ております。売上を横ばい、もしくはUPするためには新規の販路が必要不可欠であります。」

## ▶ 伊藤（宮城県南三陸町／水産加工）

「海外から仕入れる原料が、円安により2倍近い値上がりになりました。それに伴い、価格転換を強いられ、販売先の販売数量の減少、価格転換が難しかった。2月の低気圧により、原料生産量が減少して購入単価が高騰してしまい、利益率が減少しました。」

## ▶ マルセン食品（宮城県南三陸町／水産加工）

「現在、仮設工場にて稼働。今後さらに向上してゆくためには、製造環境の整備が要求されることが必須となり、本設工場の建設を検討中。来年度の、市街地高上げ完了後の換地予定地に、店舗併設の本設での工場を建設できればと考えていますが、建設費の上昇が大きな課題ってきております。」

## ▶ 寒梅酒造（宮城県大崎市／清酒製造）

「商品構成の主軸となる商品を純米吟醸以上のスペックにしたことにより、各々の単価を上げることができた。お取引先が年間数店舗増え、その分の売上を確保できることが出来た。1店舗ずつの売上高が上昇している。製造原価を下げること、資材等の価格見直し等を行っている。」

## ▶ タツミ食品（宮城県石巻市／漁業・水産加工）

「原発・風評被害が年々大きくなっている。」

## ▶ 木村水産（宮城県石巻市／水産加工）

「商品開発をしても、販路開拓をしても、人材がいなければ全てが始まらないと思い、頭をいためている状態です。」

## ▶ 鶴の助（宮城県石巻市／漁業・水産加工）

「地域全体の震災復興の遅れで工場建設や作業の機械化が遅延しています。売上は少しずつ伸びてきていますが、原材料の不足で製品原価が高くなってきています。また、人材不足で確保するのが困難です。」

## ▶ 佐藤造船所（宮城県石巻市／造船）

「施設設備の復旧が進まず、仕事の依頼も、内容によっては受けることができず、お断りせざるを得ない状況が続いている。施設設備の復旧工事について、行政と一進一退を繰り返しながら、交渉してきたが、今般ようやく合意にいたった。しかし、内容は当初予定していた計画とは大きく異なり、費用も多くなることから、これからは資金調達が必要になってくる。」

## ▶ 石巻津田水産 [津田鮮魚店]（宮城県石巻市／水産）

「復旧段階は終わり創造的な復興段階に移るために専門的知識を持った人材を必要としています。しかしながらそのような人材は石巻にはおらず隣県としています。大手からの引き合いが増えてきましたが、それに対応できるだけの原料の手配ができません。水揚げ量の減少もありますが、パートナーシップを組める加工屋さんなどが減ったことも原因のひとつです。」

## ▶ 東北とらやフーズ（宮城県石巻市／水産加工）

「当然ですが、金融機関等は現在の数字の結果・経過でしか判断せず、将来／未来の展望に乏しいと感じています。数字的に悪い当社は、日々起こる出来事全てが「課題」となっています。」

## ▶ のり工房矢本（宮城県東松島市／海苔の加工・販売）

「地元のアンテナショップで商品を買っていただいたりしているが、安定した売り場が少ない。販路の紹介などがあると嬉しい。」

## ▶ 矢部園（宮城県塩竈市／お茶等の製造・販売）

「第1種市街地再開発の手法をつかって権利者主導の街の再生を行っています。そのため、2011年7月末に再開した店舗を今一度壊さなければならぬ状況です。本当の復興への闘いはこれからです。被災沿岸部を有する3県の中で権利者主導型の商業開発の中では塩竈市海岸通が最速となります。ロールモデルとなるよう進めます。」

## ▶ 星のり店（宮城県宮城郡七ヶ浜町／漁業・水産加工）

「大量販売のためにスーパー、百貨店、食品問屋等と商談をするが、販売手数料が大きいため、利益が出なくなるケースが殆どです。利益を出すために上代価格を上げると、従来の当店顧客へ高い海苔を提供するようになる。一人一人のお客様を大事に守るか、大手にゆだねるか、悩むところです。」

## ▶ KFアテイン（宮城県仙台市／塗料メーカー）

「売上は計画通りで進んでいるが、原材料費、加工賃の負担が大きく経常利益はマイナスのままである。また、原材料に関してもこれ以上の削減は厳しい現状である。売上は順調に伸びていることから自社製造が出来れば加工賃、送料等の経費が削減できると考える。今後、追加のご支援を頂き、工場建設を実現したい。」

## ▶ 三陸オーシャン（宮城県仙台市／食品製造・販売）

「売り上げは微増であるが、特化しているほやの売り上げが伸びているため利益率が上がっている。販路拡大に伴い仕入れ資金等資金調達がネックになる。」

## ▶ ドラゴンフラワーズ（宮城県岩沼市／花卉農家）

「震災後に目標にしていた施設面積が昨年末に到達し、今年は再スタートを切るつもりでおります。7月にオープンする生産直売所や都市緑化向けのアイテム生産等の新しい試みも既に進めておりますので、昨年以上の生産量、販売量を目指していく所存です。」

## ▶ 山元いちご農園（宮城県亶理郡／いちご農園）

「事業資金の確保が年々、大変になってくる」

## ▶ 大木代吉本店（福島県西白河郡／清酒等の製造・販売）

「当初の計画と比べると、蔵全体の工事完了時期が少し遅れております。修復工事内容の変更や工事業者の不足が原因です。ただし工事は引き続き行われており、2015年春には全ての工事が完了し、新たなスタートをきることができそうです。」

# 私たちにできることは何でしょうか？

事業者の皆さまには、出資者とのつながりの中で、嬉しかったことを教えていただきました。私たちに期待されていることは、とてもシンプルで簡単なことが分かります。以下に事業者の皆さまの声を、私たちにできること別に分類してご紹介します。

## つながっていること

- この1年では、直接お会いすることはなかったのですが、季節のお便りにあたたかいお言葉を添えてくださり、皆様が当蔵のことを忘れずにいてくださることを大変うれしく存じます。
- お手紙や近況報告をしてくださる方もいて、元気をいただいています。
- 年賀状のやりとりやFACEBOOKなどで励ましの言葉を頂くことが励みになっています。
- 毎月更新を心にかけている「被災地からの報告」については、出資者の皆様から様々なご意見を頂戴しています。そのほとんどが好意的な内容で、出資者様も独自にwebで取り上げていただいたりもして、いい意味での反響を多方面から受けています。
- 都内の日本酒イベントや弊社の工場見学にいらしたお客様の中に少なからぬ出資者の方々がいらっしゃったこと。「一度新しい工場を見てみたかった」など声をかけて頂きました。普段から気にかけて頂いていることがわかり、本当にうれしくありがたいことです。

## 出資すること

- 特典の発送の際には、沢山のお礼のお手紙を頂戴し、私たちの事業がどれほどやりがいのあることなのかを従業員一人一人が再確認できました。さらには出資金を増額いただいた方も少なくありませんで、私たちをお支えいただいている熱心なファンの方が全国に大勢いらっしゃることに、今さらですがあらためて気づく事ができました。
- 毎朝、応援ファンドのウェブサイトを見るのを日課にしている。プライベートを含め、いろいろなことがあり過ぎて、何回も気持ちが折れそうになったことがあるが、これだけ多くの人に応援してもらっている、ということが支えになっている。少しずつ出資増えていることに大きな力をもらっている。

## 商品を買うこと

- この1年は特別な事はありませんでしたが、未だ当社の商品をご購入していただく方がいる事に感謝しております。
- 当蔵の清酒をご購入していただき、御遣い物にしてくださいの方が増えてきたことがとてもうれしいです。
- インターネット販売、投資家の方が買ってくれるとき、ちょっとメッセージをいただいたりしています。スタッフみんなでそれを読むとき嬉しくなり、忙しいなかでほっと一息つけます。

## 会いに行くこと

- 気仙沼まできて頂き出資者でない方も繋がる人の輪に感謝しています。
- 南三陸の仮設商店街や、関東催事の時にわざわざいらして何より嬉しいです。
- お店に来ていただいたとき、密かに出資しているのですよ。といわれると凄く嬉しくなります。
- 出資者の方が当店を訪ねて下さることが度々あり、遠路、わざわざ、本当に嬉しいかぎりです。
- 何も無いところに立ち寄っていただいた方がいらっしゃいました。本当にありがたいと思いました。

## まだまだあります

- 初の東京での中間報告会を開催しました。小人数ではありましたが、終始アットホームな感じで進める事ができ、楽しいと言うことと、応援頂いていることを再確認出来る良い機会だったと思います。益々、今後の仕事の励みになりました。
- 出資者の紹介で商品開発に向けコラボ商品（ほよこんやくジャーキー）の提案があり、検討中。
- 出資者の方から応援メールをよく頂戴します。また、大学との共同研究開発の橋渡しをして頂きました。お蔭様で、現在産学官の連携がスタートしました。



## 数字でみる みなさまからの応援

「セキュリテ被災地応援ファンド」は、2011年4月25日の募集開始以来、2015年3月までに、北は北海道から南は福島まで、38事業者の40ファンドの募集を行い、全国の延べ約2万9200人から、およそ10億9000万円の応援をいただいています。ご参加いただいた皆さま、どうも有難うございました。  
(2015年3月現在)

29,200人

38社

10.9億円

## 募集中ファンド

### ▶ 矢部園伊達茶ファンド



北限のお茶畑がある宮城県石巻市。寒い地域でのお茶づくりはとても難しいですが、甘みと豊かな香りをもつ独特のお茶が楽しめます。「いいお茶はいい土づくりから。」一生懸命つくられたお茶は、本当に美味しいです。このお茶を守っていききたいと思います。(矢部亨)

【特典】お茶葉・お茶

### ▶ 歌津小太郎こぶ巻ファンド



2015年は「第二工場建設」が控えています。多少遅れての着工となりますが、ファンド資金を最大限活用して、新しい分野にも挑戦する環境を整えていきます。販売スペースも設け、南三陸の新鮮な海の幸や、自社製品を地元から発信し広げて行く事業にも挑戦してまいります。(千葉小太郎)

【特典】昆布巻

### ▶ 北海道網元浜中丸サケファンド



取引先の方から「お前のとこの鮭じゃないとだめだから。また頼む」と声をかけていただき、復興を決意しました。今年は本当の意味で復興元年。事業が少し動き出した今、震災直後に比べても非常にきつい状況。事業計画の遅れを取り戻すには今年が勝負だと思っています。(工藤文彦)

【特典】時不知鮭等・ツアー

### ▶ 喜久盛酒造仕込み蔵移転ファンド



当ファンドは被災した弊社の復興と廃業した造り酒屋白雲の再生という二重の意味を持ちます。震災により弊社は蔵が半壊し、白雲は蔵元の急逝に伴って自主廃業されました。しかし白雲の蔵は震災の影響が軽微で済んだ為、弊社がお借りして修復し両社の銘柄を存続させようと思命感に駆られています。(藤村卓也)

【特典】お酒

ファンドの詳細・お申込は <http://oen.securite.jp/> から

被災地応援ファンド

検索